

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 No.39 通算 103

2016.7.26 (火) 発行

はじめに

横山

前回の学年通信から早や2週間が過ぎました。実はこの間にも多くのニュースがありました。その最たるものが「ケサランパサラン捕獲！」なのですが、マイコプラズマが流行している今は、それを悠長に語っている場合ではありません。なお、マイコプラズマ注意と措置については、本日配付した保護者宛ての文書をお読み下さい。また米興HPにも掲載しております。

さて、明日は「東北大学オープンキャンパス」です。昨年度は希望者 102 名で参加しました。今年は2年生全員で行って参ります。ここで「なぜ、東北大学なのか？」というお話もお聞きします。その1つは「すべての学部学科が揃った総合大学であること」、そして、もう1つが「米興が目指す学力レベルの大学であること」です。東北大学は全国で総合 10 位以内、理系に限れば世界的にもトップレベルの大学です。高い目標を持ち、その実現のため、また世に尽くすためにも米興生には頑張っただけでいいのです。その1つの目標が「東北大レベル」です。

あなたはチャレンジする前から「私にはムリ！」と諦めていませんか？ 自分で無理だと言って「自分の可能性を否定してしまうこと」など、若いあなたがチャレンジしないことは極めて残念です。またそれは、あなたに期待する家族や我々教員への、ある意味では裏切りだと思えます。学びに限らず、部活動でも遊びにも「常に無限の可能性があること」を信じて邁進することです。目指すは「最高の夏！」です。明日のOCがそのスタートになることを期待します。なお、下記は生徒用に作った「しおり」の抜粋です。ぜひ保護者の方も、ご一読下さい。(生徒諸君は、この学年通信および別紙は保護者の方に本日中に渡して下さい。)

<見学大学 学部・学科 集計>

組	理学	医医	医看	薬	工	農	文学	教育	法	経済	宮教	米駅	合計
1	11	5	1	4	15	6	0	0	0	0	1	20	42
2	10	5	9	4	12	4	0	1	0	0	3	10	45
3	8	5	13	0	15	4	0	1	0	0	5	14	46
4	0	0	0	0	0	0	17	4	6	6	6	15	33
5	0	0	0	0	0	0	18	9	4	2	3	10	33
合計	29	15	23	8	42	14	35	15	10	8	18	69	199

<前日までに準備しておくもの>

- ① 持ち物：「マスク」、しおり、黒バインダー、筆記用具、昼食（学食で食事可能ですが）怪しいときは雨具。荷物は軽量にする。バックはリュックサックがいいかも。タオルがあると便利。汗拭きはもちろん帽子にもなる。バックに1本入れておく。
- ② 服装：制服は当然として「バッチ」は必須。バッチを見て米興の先輩が声を掛けてくれるかもしれない。かなりの距離を歩くので、革靴よりは履きなれたスニーカーなど運動シューズの用がイイ。
- ③ 調べ物：当日、各キャンパスの受付で「オープンキャンパスのしおり」を頂けるが、どこを見学するのは事前にネットで調べて決めておくと効率がいい。実は一般的な催しをみるより、「研究室訪問」が最もためになる。大学は「研究するため」に行くところ。特に、東北大学AOⅡ入試を考えている人は、来年度「志望理由書」に書くためにも、研究室を訪問して教授とお会いしておくことです。

他の大学のOCに参加するときも同様ですが、既に「大学入試は始まっている！」のです。なお、ネットといえば「ポケモンGO！」ですが、いくらゲットしても、それで入学できる大学はありません。すでに諸君は「本気で自分の人生設計を立て、それを実現する戦略を実践する」ときののです。現実から逃げたいと思いませんか、可愛い自分のことばかり考えていませんか、ネットやスマホに溺れていませんか？ 人生の礎を築くために、腹を括る「時」は来ています。

マイコプラズマ肺炎や、病気・体調不良等で参加が危ぶまれる場合は「学校で学習できます」ので無理して参加しないこと。当日朝の連絡でもイイし、事前にわかっていたら担任の先生に相談して下さい。また、オープンキャンパスに参加する場合は「各自でマスクを準備して車内ではマスク着用」を義務とします。シートベルトと同じです。

<当日の欠席や登校学習する場合>

朝、体調が思わしくなく「欠席」や「登校学習」をする場合は、6:40~6:55の間に米興に電話して下さい

米沢興譲館高校 0238-38-4741

どうしても繋がらない場合は、
横山携帯 080-1810-3579 (OC中の緊急連絡先)

なお、当日は2学年の渡部先生が学校に常駐されます。登校した場合は、職員室に行き先生の指示に従って下さい。不明な点も先生に相談して下さい。

<当日の日程>

6：50 バス配車完了
7：00 生徒登校完了・乗車開始 → 引率の先生の指示に従って下さい。

1号車	理学部薬学部（青葉山）	37名	山口、横山
2号車	工学部（青葉山キャンパス）	42名	いつみ、相馬さん
3号車	医（青陵）農（雨宮）	52名	芳賀、中村
4号車	文学部（川内キャンパス）	35名	後藤、舟越
5号車	法・経・教（川内キャンパス）	33名	土井

7：15 学校出発 → 遅れた場合は待ちませんので学校で学習して下さい。
7：20 米沢駅東口集合完了
7：25 米沢東口駅出発 → こちらも待ちませんので学校へ登校して下さい。
10：00 各キャンパス到着・下車。基本的に下車後は各自でキャンパス見学です。
他キャンパスへの移動も可能です。

<案内をしてくれる先輩方>

工学部 機械システム知能・航空工学科 2年 S. Yさん、K. Tさん
文学部 2年 Y, Nさん、T. Yさん
経済学部 3年 K. Mさん 法学部 3年 F. Mさん

お忙しい中、米興の「かわいい」後輩のために集まってくれます。感謝です！

<宮城教育大見学希望者>

12：45 大型バス乗降場A（博物館前）集合 → 1号車に乗車
13：30 宮城教育大学 到着

案内先輩は中等理科 M. Mさん、中等技術 K. Yさん です。

<文学・教育・法・経済学部の生徒>

14：50 大型バス乗降場A 集合（博物館前） → 3号車に乗車
15：00 集合したら出発 → 学校 → 米沢駅希望者は、そのままバスに乗る

<文系学部以外は、15：20 朝降りた場所に集合する>

理学部・薬学部 → 宮教から1号車が来るので乗車 → 集合次第出発

工学部 → 2号車に乗車 → 集合次第出発

医学部 → 4号車に乗車 → 農学部 → 集合次第出発

この枠内の人で、学校到着後に米沢駅希望者は「1号車」に乗り換えて下さい。

<諸連絡>

其の一 興譲館の名を辱めるような行為は厳に慎しむ。

其の二 授業の一環です。仙台見物ではありませんし、牛タンツアーでもありません。
学びの場であることを常に意識し、実りあるオープンキャンパスにすること。

其の三 「オープンキャンパスレポート」は翌日28日（木）朝SHRで提出すること。

マイコプラズマ肺炎について

米興で流行していますが、否定的に考えるのは2学年通信「らしくありません」ので、これをきっかけに、マイコプラズマ肺炎についての理解を深めましょう。なお、テキストは保健室にあった「感染症の診断と対応」を参考にさせていただきました。

<マイコプラズマ肺炎の診断方法>

肺炎という名前がついていますが、聴診器による呼吸音の診察では判らないのが「マイコプラズマ肺炎」です。マイコプラズマ肺炎は、聴診しても肺炎を疑うような音を発生しないからです。従って、肺炎になっているかどうかは、胸部X線で診断します。しかし、胸部X線では、それがマイコプラズマ肺炎かどうかの確定は困難です。そこで多くの病院でとられているのが、マイコプラズマ IgM 迅速抗体検査です。マイコプラズマに感染すると、血液中には IgG 型と IgM 型の特異抗体がつけられます。マイコプラズマ IgM 迅速抗体検査はその IgM 抗体を検査し、陽性か陰性かで感染の確認を行う検査です。しかし、マイコプラズマ IgM 抗体が陽性になるのは発病してから1週間後といわれていて、初診の際に検査しても、多くの場合は陰性を示します。また、大人の場合は IgM 抗体の産生が少ないため、感染していても陽性反応を示さない場合があること、逆に子どもの場合の IgM 抗体検査においては、感染後も長期にわたって抗体が検出され続けるケースもあることなどから、この検査の精度は高いとは言えず、早期の確定診断は難しいでしょう。近年、上記マイコプラズマ抗体検査の弱点を克服するため、マイコプラズマ抗原の迅速検査が可能となりました。マイコプラズマそのものを検出するため、偽陰性や偽陽性がなくなり、正しい診断がつけられるようになりました。ただし、咽頭分泌物を調べるため正確に採取しないと陽性にならないことがありますので注意が必要です。もうひとつ診断方法としてあげられるのが DNA 検査で、咽頭ぬぐい液や喀痰検体からマイコプラズマの DNA を検出する方法です。マイコプラズマが増殖するのは気管支や肺まで到達してからで、そもそも喉付近にはあまりマイコプラズマ自体が存在していないため、咽頭ぬぐい液の検査の有効性は高くありませんが、膿性部分のある喀痰がしっかり採取できれば、菌の検出率は高くなります。本検査は微量の菌でも検出できる利点があります。これ以外に、痰を採取して培養する検査もありますが、結果が判るまでに1週間以上かかります。また、遺伝子を増殖させて診断する方法もありますが、実施できる施設に限りがあるため、一般的な検査方法ではありません。

本日午後「東北の長崎プロジェクト」で、医師志望の2年生9名が米沢市立病院で研修してきます。「すべての病気やけがの知識を持ち、その対処法を身につける」医知は凄いと思う。[終]